

○各課の課題と生涯学習センターに期待する機能等の内容は下記のとおり。

資料2

1.遊佐町生涯学習センター改築に向けて各課の課題

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
総務課財政係	①改築にあたっての財源の確保	○多額の改築費用が考えられるため、町民の声や複合施設など町の方針を反映させると同時に、国・県等の各種補助金、基金、地方債などの財源を見越した施設内容を検討する必要がある。 ○各種補助金、地方債の情報収集（対象になるか、いつまで実施する補助事業・起債か、など）を行いながら、基金についても早い段階で計画を行い積み立てる必要がある。	・基金について 改築にあたり今後積立の必要があると思うが、建築費用がいくらかかるかなどある程度 わからないと、積立の目標が定まらないのではないかと。 ・人口減少による施設の利用者減少も出てくると思うので、町規模にあった施設改築を考えていくべき。 ・管理の面から複雑なデザインの建物は避けた方がよい。
	②維持管理しやすい構造、設備	○維持管理を比較的安価に、町内・近隣市町業者がすぐに対応できるような構造・設備での改築が必要と考える（複雑な意匠、特別な素材や設備を避けるなど）。	

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
総務課 危機管理係	①遊佐まち協より防災倉庫設置の要望	防災備蓄品の保管スペース	・防災備品の保管スペースについては、まち協の要望もあり記載したが、現在の生涯学習センターがある場所に防災備蓄品を保管するのは、地盤が弱く不向きである。トレセンの南側であれば良いと考えるが、生涯学習センターが施設としてどういう機能を持つ施設になるか整理しながら進めていくべきである。 ・役場がもし対策本部として機能できないくらいの災害があり（水害など）、生涯学習センターに本部機能を置くとした場合、災害対策本部を設置する会議室は役場の議場くらいのスペースが必要である。現在の役場の委員会室のように、移動式の壁などで仕切る大きな部屋（会議室）を作ることができないか。またオンライン会議が実施できるよう大型ディスプレイも必要。現在の防災センターでは狭すぎる。
	②避難所としても活用できるスペース	夏季・冬季に避難者が待機するため空調が整備された広さのある部屋	
	③災害対策本部機能を持った会議室の設置	大規模災害により役場庁舎が機能しなくなった場合の代替施設。特に、役場庁舎周辺は洪水災害の場合水没する可能性があり施設自体の水没は免れても孤立する可能性。 現在の生涯学習センターには情報発信できるサテライトスタジオや会議室がない。	

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
企画課企画係	遊佐地域づくり協議会についてセンター改築に伴う事務所の考え方を整理していく必要がある。	—	※検討委員会メンバーに遊佐地域づくり協議会が入り検討をしていく。検討会で出た意見については企画係と共有する。 (ヒアリング実施せず)
企画課 定住促進係	NPOいなか暮らし遊佐応援団と空き家移住支援員の事務所設備の老朽化による機能低下 ※現在、エーコープ遊佐支店の2階に事務所がある。	機能：移住希望者相談及び移住者支援の拠点 設備：事務所、相談スペース	・現在の事務室は雨漏りをするときがある。 ・現在の事務室は町が使用料を支払っている。 NPOに町の移住業務を委託し委託料を支払っている。 ・もし生涯学習センターに事務室を置くとしたら、使用料の減免などできるかの整理は必要。 ・現時点では、要望というよりもし使用できるのであれば検討してもらいたいくらいの感覚である。複合施設ではなく教育施設として改築するのであればそれに従う。
産業課エネルギー政策推進室	公共施設の脱炭素化について ⇒公共施設の脱炭素化について、国から各自治体に求めているが、遊佐町ではほとんど検討すらされていない現状	・建設計画時からのZEB化検討（ZEB Ready相当以上が望ましい） ・太陽光発電・蓄電池など再エネ設備の設置 ・EV充電設備の設置	※今後改築に向けての検討事項（ヒアリング実施せず）

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
健康福祉課福祉係	遊佐町総合福祉センターの改築	遊佐町総合福祉センター（S53竣工）は築47年を経過し、老朽化に伴う改築が必要となっている。現在の場所はR6豪雨災害時にアクセス道路が冠水し、好ましい立地ではないため、改築にあたっては移転も視野に入れている。 現時点では建設場所を含め改築に関する協議は進んでいないが、コンパクトシティの推進や町の財政支出を抑えるためにも、生涯学習センターと同一敷地内への移転や施設の複合化が考えられる。 ※遊佐町総合福祉センターの改築にあたっては、実施主体は遊佐社協となるが、改築に必要な基金等の財源は社協に無く、町頼みの状況。また、社協が所有している土地も無いため、改築場所は町有地に限られている	・総合福祉センターの改築について、今現在、遊佐町社会福祉協議会とは話し合いの場を持っていない。 ・社会福祉協議会には改築にかかる費用を捻出する財源が全くないため、改築費用は100%町頼みとなっている現状である。改築には何かしらの補助金を活用することになるかと思いますが、10/10補助は無いと思われるので、補助以外のところで町の持ち出しが求められる。複合施設として建設することで建設コストを抑えることができるのではないか。 ・【財政係より】町で福祉施設の基金積み立てをしている。

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
教育委員会	現在、教育委員会事務局の事務所が防災センター2階（教育長、課長、総務学事係、学校指導係、文化係）と生涯学習センター（社会教育係）に分かれているため、職員は業務遂行のため頻繁に生涯学習センター⇄防災センター⇄役場新庁舎間の行き来が必要であり、事務的な煩雑さや時間のロスを招き不便をきたすことが多い。	生涯学習センターの改築に合わせて、現在防災センター2階にある教育委員会事務局機能を新生涯学習センター（仮称）に移転統合し、社会教育係とワンフロアで業務を行うことにより、課内の業務効率の向上や係間の連携強化、教育委員会窓口の一元化による住民サービスの向上を図ることができる。	※今後改築に向けての検討事項（ヒアリング実施せず）

所属	課題等	左記内容を解消するために生涯学習センターに期待される機能、設備等	ヒアリング実施
教育委員会文化係	以前町立図書館内に設置されていた町史編さん室について、現在は生涯学習センター3階に移転されている。 町史編さん事業は、令和4年度遊佐町史下巻の発行をもって区切りを迎えたが、今後の事業状況を勘案して、編さん室のあり方や資料所蔵場所を検討する必要がある。	生涯学習センターの改築検討を契機に、他の町内施設を含めた機能分担を整理しながら、改築後の町史編さん室の設置場所を決定する必要がある。	・資料を置く棚、作業スペース（机、いす）があると良い。 ・現時点で編さん作業をする予定は無い。

2. その他（要望、意見など）

- ・誰でも利用できる、利用のしやすいオープンスペース、フリースペース、会議室など
- ・ホールの規模の検討（控室の検討）
- ・電子予約システムができる
- ・他の施設（図書館、体育館、子どもセンター、役場等）とのバランスを考えた施設の配置、駐車場規模の検討